

# ほっぴ 放課後等デイサービス支援プログラム

事業所名

ほっぴ (放課後等デイサービス)

作成日

令和6年

10月

25日

法人（事業所）理念		障がい児者と保護者をずっと支える居場所をつくるために全力を尽くします。								
支援方針		児童が日常生活における基本動作を習得し、また集団生活に適応することができるよう個別プログラムに沿った集団療育を行う。また各児童の状態に応じた個別指導も行う。								
営業時間		9時	0分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>検温、体重測定など健康状態のチェックを行う。</li> <li>昼食時の口腔内機能、感覚などに配慮することや、摂取時の姿勢保持、自助具などに関する支援を行う。</li> <li>食事、衣類の着脱、排泄、身辺整理など日常生活で必要な基本的生活リズムを身につけられるように障害特性に合わせた支援を行う。</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職が利用児一人ひとりを適切に評価して支援内容を立案し実践していく。</li> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能、身体機能、筋力の維持強化などに関して専門職との連携を図りながら支援していく。</li> <li>発達段階や特性に配慮した視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるような遊びを実践していく。</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分活用して認知機能の発達を促す制作活動や身体遊びを取り入れていく。</li> <li>おもちゃや道具を使い物体の数や形、色の変化、音の違い、空間、時間の捉え方を理解する。</li> <li>行動障害や偏食など、利用児の認知の特性・偏りを把握し適切な支援や配慮を行う。</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員や他児と会話することで言語を学んだり自分の気持ちを言葉にできるように支援する。</li> <li>文字、記号、ジェスチャー、絵カード、手話など様々なコミュニケーション手段を使うことで相手の言葉を理解し自分の意思を伝えられるように支援する。</li> <li>利用児に対して読み書き能力向上のための支援を行う。</li> </ul>								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の人と関わり信頼関係の築き方や感情のコントロールができるように支援する。</li> <li>相手の動きを真似をする遊びを行うことで人と関わることへの意識がもてるように支援する。</li> <li>ままごとやごっこ遊びなどの象徴遊びを行うことで社会性や想像力の発達が促されるように支援する。</li> <li>集団に参加する方法やルールを理解することで集団での遊びや活動に参加できるように支援する。</li> </ul>								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくため専門職による心理的支援を行う。</li> <li>施設と家庭との情報を密にしながら、個別支援目標に沿ったより良い支援を行う。</li> </ul>				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や関係機関との連携を図りながら充実した生活が送れるように支援する。</li> </ul>		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>法行事等を通して近隣住民と関わり交流や社会参加ができる。</li> <li>保育所、幼稚園、学校、医療機関等との情報連携を図りながら適切な支援が受けられるように個々の課題を地域全体で取り組んでいく。</li> </ul>				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内研修・外部研修の派遣など</li> </ul>		
主な行事等		節分、ひな祭り、お花見、海風浴、ハロウィン、秋祭り、クリスマス会他季節に応じた活動。								